

特許出願中の新技術

ボルトの緩みを測定するシステムの実証実験開始

国立大学法人豊橋技術科学大学、トーヨーメタル株式会社及び豊橋市が、産学官で連携して研究開発を行っているボルトの緩みを計測するシステム（TenSense^{テンセンス}）を、本市の管理する浜田川橋（野依町字東欠）に設置し、国立大学法人豊橋技術科学大学内（天伯町字雲雀ヶ丘）にてリモートで計測する実証実験を開始しました。

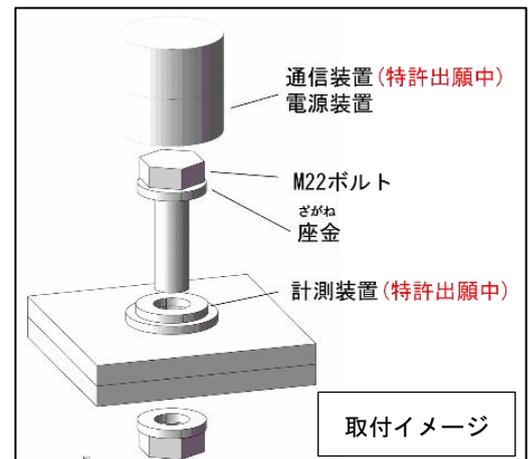
この研究は、本市の補助金を活用して株式会社サイエンス・クリエイトが実施している「イノベーション創出等支援事業」による支援を受け、令和2年度から3年度にかけて行ったものです。

1 新技術の特長

- ・ 現地から定期的に送られる圧力のデータを離れた場所で計測が可能
- ・ 取り付ける際に、ボルトへの加工が不要
- ・ 外付けの通信装置・電源装置が不要

2 期待される効果

橋梁等の構造物において、ボルトの緩みの早期発見が可能となれば、経年劣化等による緩みや破断が原因となる、事故・破損の防止に役立つものと期待ができます。



TenSense

M22 ボルト



設置状況

本件に関する連絡先
広報担当：豊橋技術科学大学 総務課広報係 岡崎・高柳
TEL:0532-44-6506 FAX : 0532-44-1270
Email: kouho@office.tut.ac.jp